

研究課題名

**院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築
に関する研究（課題番号 ）**

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

総合診療部 救急診療科では、心停止症例の蘇生に関わるデータを収集し、客観的な検証を行うことにより、心停止例の救命率を向上させることを目的として、以下の疫学(臨床)研究に参加しております。概要を記しますのでご理解の程よろしくお願いたします。

平成 26 年 7 月 13 日

【研究課題名】

**院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築
に関する研究（日本救急医学会主導研究）**

【研究期間】

- 1)対象者登録期間:倫理委員会承認後から 5 年間
- 2)対象者追跡期間:院外心停止発生 3 ヶ月後までの脳機能評価を診療録から取得する。

【研究の意義・目的】

院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立し、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な搬送先選定基準および、治療ストラテジを検討する。

【研究の方法】

研究の対象となる患者さん

当院へ搬送されたすべての院外心肺停止症例

測定項目

基本情報登録

<病院情報>都道府県、病床数(集中治療室(ICU)病床数、小児集中治療室(PICU)病床数)、救急病院種別、スタッフ数(医師、看護師)、専門医種別。

<患者情報>性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収容時刻)、適格基準

ウツタイン(病院前救護)記録

救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エヒピネフリン投与、病院収容前の心拍再開。

病院到着後記録 病院腫瘍時刻、ドクターカー・ドクターヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データ、CPAに至った原因、病院搬入後の状態、発症1ヵ月後生存、発症90日後生存、発症1ヵ月後の脳機能、発症90日後の脳機能。

【研究機関名】

京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター

大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター

東北大学大学院医学系研究科総合地域医療研修センター

九州大学大学院 災害救急医学 九州大学病院救命救急センター

横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター

東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部

岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター

北海道大学病院先進急性医療センター

大阪大学大学院医学研究科環境医学教室
日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター
山口大学大学院医学系研究科 救急・生体侵襲制御医学分野
国土舘大学大学院救急システム研究科

(共同研究期間)

- 1)対象者登録期間:倫理委員会承認後から5年間
- 2)対象者追跡期間:院外心停止発生3ヵ月後までの脳機能評価を診療録から取得する。

【個人情報の保護について】

- 1) データの匿名化および連結可能性の有無
病院到着後データは、患者氏名ならびに、その住所など個人情報を削除した状態でデータベース化する。ウツイン記録と病院到着後のデータの連結は研究事務局が行い、対象者特定情報を削除し、新たな番号を付与して匿名化したデータを研究者に提供する。研究者において、データと個人識別情報を連結することはできない。
- 2) 個人情報および個人データの取扱者の範囲
ウツイン記録の個人情報は救急隊のみ、診療録の個人情報は病院医師のみが取り扱い、研究者は匿名化されたデータのみを扱う。
- 3) 資料の保管および処理方法
データは電子化されており、本研究にかかわる研究者以外が閲覧できないようにパスワードが設定されたパソコンで管理、保管する

【本研究に関する問い合わせ先】

東京都世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター
総合診療部 救急診療科 多賀谷 貴史
03-3416-0181 (内線7448)

【結果の公表】

2021年3月頃 本HPに掲載予定